



チャレンジ! グリーン活動

省資源・省エネルギー推進コース

直島町立直島小学校

ISO委員会

私たち直島小学校ISO委員会は、直島町・直島小学校のよりよい環境作りをめざして、節電・節水を中心とした様々なエコ活動に取り組んでいます。全校生が「エコタウン直島」の一員であるという自覚を高められるようキャラクターを作成し、具体的なエコ活動の方法を紹介しています。(平成14年より、直島町はエコタウンとしての認定を受けています。)

目標

直島のために、いいことを(I)・すすんで(S)・おこなおう(O)!!

指標

消費電力は昨年度より減らすよう、水道使用量については昨年度平均に比べて3%減らす。

活動の様子

○ 活動内容

- (1) 節電のため、緑のカーテンとしてゴーヤを栽培した。手分けして毎朝水やりを行い、世話をした。節水のため、植物への水やりは井戸水を用いた。



- (2) 木材の消費を少しでも減らすために、テトラパックをたくさん集め、校内の牛乳パックだけでなく、家庭でもパックを回収できるように呼びかけをした。校内テレビ放送では、学校での水やりにおいて井戸水を使った節水への取組を紹介した。他にも、テトラパックの洗い方やパックをはさみで切り取る時の注意点などを実演をまじえて行い、放送した。また、節電、節水を呼びかけるポスターを作成し、各学級へ周知していった。



<本年度、工夫できた点・挑戦できた点>

- ・ 緑のカーテンとしてのゴーヤ栽培に、毎日取り組むことができた。
- ・ 校内テレビ放送やポスターなどで、節電や節水について積極的に呼びかけることができた。また、電気使用量や水道使用量の数値を意識することで、ISO委員会の意欲を高めることができた。

目標の達成度

昨年度に比べて、電気使用量、水道使用量共に増加した。電気使用量に関しては、今年度より各教室にエアコンが設置されることを意識して、特に節電に力をいれてポスターなどで呼びかけを行ったが、上昇してしまった。また節水にも努めたが、水道使用量増加の原因としては、夏場のエアコン工事の際での水道の使用、トイレ配管の一部老朽化に伴う漏水などが考えられる。加えて、児童、教職員共に、清掃に力を入れる等、常時活動で例年よりも水を使う場面、量が多くなってしまったことが使用量増加の原因として考えられる。これらの結果を踏まえ、来年度より、より一層の節電・節水を意識した常時活動に取り組み、学校全体で改善を図りたい。

テトラパック回収については、家庭からの協力もあり、今年度は約130kgを回収できた。